

流行ものから 見えるもの

ご当地検定は『お得感』で勝負!

— 郷土の知識も楽しく学ぼう —

子どもや若者が「全国四

つたとか。

十七都道府県の場合と地名を答えられない」や「郷土の歴史や文化を知らない」という声をよく聞く昨今。そんな事態を改善するべく、各地でさまざまなアイデアが登場してきた。

例えば地理。平成十九年に小学校の高学年に白地図を見せて都道府県名を尋ねたところ、正答率が九割を超えたのは北海道・青森・沖縄のみで、逆に宮崎・島根・福岡は五割に届かなか

また、地元や郷土の知識を増やそうと全国各地で始まったものの、やや下火になっていったのが「ご当地検定」。しかし最近では、商

工会議所や自治体、観光協会などを中心にテコ入れの動きが広まってきた。狙いは「若者と学生」、キーワードは、ずばり「お得感」である。

例えば神戸では、企業や学校を対象に受験生の「団体割引料金」を設定。大阪では、それに加えて「地元特産品の展示即売会」を行っている。兵庫県・香美町の「香住!カニ検定」では、同じく明石市の「明石・タコ検定達人編」では、市内のすし店でタコなどの「食べ比べ」をして地元産を当てるイベントを組み込んだり、「かこしまジュニア検定」では県内全域の小・中学校に教材テキストを無料配布したり。さらに、「京都検定」では大学主催のミス・キャンパスコンテスト

そう聞いて「何と軟弱な」と、しかめっ面をする方がおいでかも。しかし、「どんなやり方でも、郷土愛が高まればよし」と太っ腹を示すのが、どうやら大人流の対応かもしれない。

NML野村オフィス

代表 野村 正樹

会議所3月の動き

- 2日(火) ・組織活性化セミナー
- 4日(木) ・日本商工会議所青年部 全国大会
松山大会(～7日)
- 6日(土) ・第2回「阿賀北ロマン賞」授賞式、
まちの駅よろず「新発田学研究センター」開所三周年記念講演会・パ
ネルトーク
- 8日(月) ・旧新潟県商工会議所連合会理事会・総会
- 10日(水) ・常議員会
- 11日(木) ・地域福祉活動団体等助成事業選考委員会
・練しばたショッピングセンター店
舗運営管理協議会
- 12日(金) ・全国商工会議所女性会連合会理事会
- 14日(日) ・新発田市成人式
- 16日(火) ・第12回全国「花嫁人形」合唱コン
クール第3回実行委員会
- 17日(水) ・CCI & AXA トップマネジメン
トカンファレンス
- 18日(木) ・日商会員総会
- 19日(金) ・第17回新潟職業能力開発短期大学
校卒業式
- 24日(水) ・新入社員セミナー(～25日)
・第3回新発田市行政改革推進懇談会
- 25日(木) ・県下越総合健康開発センター評議員会
- 26日(金) ・新潟県青色申告会連合会 事務局長会議
・エキスパートバンク委員会
- 29日(月) ・旧新発田育英会理事会並びに評議員会
・通常議員総会